

2027年 4月入学

佐賀大学大学院

第2次学生募集要項

地域デザイン研究科（修士課程）

芸術デザインコース

地域マネジメントコース

一般入試
社会人特別入試
外国人留学生入試

出願期間	2026年10月22日（木）～10月29日（木）
試験日	2026年12月6日（日）
合格者発表日	2026年12月22日（火）
入学手続期間	2027年1月18日（月）～1月21日（木）

佐賀大学

目 次

I	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	募集人員	5
III	共通事項	
i	出願手続等	6
ii	試験日	7
iii	合格者発表	7
iv	入学手続	7
v	納入金	7
vi	奨学金	8
vii	教育職員免許状	8
viii	出願上の留意事項	8
ix	受験にあたっての主な注意事項	9
x	災害救助法が適用されている地域で被災された佐賀大学志願者への 入学検定料の免除について	10
xi	障がい等のある志願者との事前相談	11
xii	インターネット出願登録及び出願書類記入上の注意	12
IV	芸術デザインコース 出願資格・出願書類・入試方法・試験日程等	
IV - i	一般入試	14
IV - ii	社会人特別入試	19
IV - iii	外国人留学生入試	24
IV - iv	教育研究分野等	29
V	地域マネジメントコース 出願資格・出願書類・入試方法・試験日程等	
V - i	一般入試	32
V - ii	社会人特別入試	37
V - iii	外国人留学生入試	42
V - iv	教育研究分野等	47
V - v	Screening in English	49
VI	その他	55

個人情報取扱について

佐賀大学は、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人佐賀大学個人情報保護規則」等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。本学が入学選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出していただく書類に記載されているすべての個人情報は、次の業務で利用します。

- (1) 入学選抜・入学手続きに関する業務
- (2) 教務関係（学籍管理、修学指導及び教育課程の改善等）に関する業務
- (3) 学生支援関係（健康管理、入学料免除、授業料免除、入学料徴収猶予、奨学金及び就職支援等）に関する業務
- (4) 入学選抜及び大学教育の改善に関する調査・研究に関する業務（ただし、個人が特定される形で、その成果を公表することはありません。）
- (5) その他個人が特定できない形式で行う統計に関する業務
- (6) (4)及び(5)については、データの電子化、印刷、製本等の業務を業者に委託する場合があります。

なお、本学が取得した個人情報は、法令に基づく場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく上記業務以外での目的で利用又は第三者に提供する事はありません。

I 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探究・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

地域デザイン研究科の入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【1】求める学生像

地域デザイン研究科は、芸術、フィールドデザイン、経済・経営を専門的・学際的に研究することにより、芸術文化と経済経営の複眼的視点から地域創生をリードできる高度な知識と実践的リサーチ能力をもつ自律した専門的職業人の養成を目的とします。各コースの求める学生像は以下の通りです。

■ 芸術デザインコース

芸術に関して高度な専門知識と表現技能を修得し、それらを国際的に通用するレベルに発展させるとともに、マネジメントの能力とフィールドデザインの思考を身につけることにより、幅広い視点から地域の文化芸術・産業の課題を見出し、芸術を通してその課題の解決ができる高度な専門的能力を持った人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 専門分野における高度な専門知識や技術を学ぶために必要な基礎学力及び技術を有している人
- ② 地域が抱える問題に対して高い問題意識をもち、その解決や改善に芸術を通して立ち向かおうとする強い意欲のある人
- ③ 芸術に対する幅広い知識や表現能力を有し、それらを国際的に通用するレベルに発展させ、国際的な視野に立って地域社会及び国際社会の発展に寄与したいと考える人
- ④ 地域の伝統工芸や伝統産業が抱える問題の所在を鋭く察知し、その問題解決に新たな芸術的知識や芸術的技能を駆使して当てることで、それらの再生や発展に主体的に貢献したいと考える人
- ⑤ 芸術の理論や表現のみならず、マネジメントをはじめとする、諸分野の知識や方法論を獲得することにより、地域の人々の生活の質（QOL）の向上のために貢献したいと考える人

■ 地域マネジメントコース

経済・経営の高度な専門的知識の獲得によるマネジメントの能力とグローバル経済における市場の展開を理解し分析できる能力の修得に加え、芸術の表現の理解及びフィールドデザインの思考を身につけることにより、幅広い視点から地域経済と文化の課題の解決と国際的展開ができる高度な専門的能力を持つ人材（ブリッジ・パーソン）を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 専門分野の高度な専門知識を学ぶために必要な基礎的な学力を有している人
- ② 地域経済と企業経営活動の諸課題に対して、経営学と経済分析の視点から解決する能力を得ようという意欲を有し、企業や自治体において地域のイノベーションに貢献することを目指す人
- ③ 海外への留学などを視野に入れて学び、地域経済・文化の国際的展開へ橋渡しができる人材となることを目的とする日本人学生
- ④ 地域の企業と自治体等で働くなかで見出した課題に取り組み解決していくための高度な経済・経営の知識を学び研究し、それらを活用することで地域経済の発展に貢献することを目的とする社会人
- ⑤ 日本企業の経営活動をふくむ日本経済に関心を持ち、日本で学んだことを活かして地域経済・文化の国際的展開へ橋渡しができる人材となることを目的とする留学生
- ⑥ 日本における空間資源・文化資源などの地域資源の保護・活用を学び、母国での経済発展に活かすとともに各国の地域間の連携に貢献したいと考える留学生

【2】入学者選抜の基本方針

地域デザイン研究科の教育・研究理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学院受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、外国語と専門科目に関する筆記試験、小論文〔芸術デザインコース〕及び成績証明書によって評価します（筆記試験は口述試験に変更される場合があります）。また、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を有しているかを、面接（口頭試問を含む。）と研究計画書によって評価します。さらに、各コースで学ぶための明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、志望理由書によって評価します。

社会人特別入試

大学院受験資格を有し、かつ社会経験を有する者を対象とした社会人特別入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、専門科目に関する筆記試験、及び小論文〔芸術デザインコース〕によって評価します（筆記試験は口述試験に変更される場合があります）。大学院で学習するために必要な明確な問題意識や研究課題を有しているかを、実務経験に基づいて作成した論文〔地域マネジメントコース〕で評価します。

また、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を有しているかを、面接（口頭試問を含む。）〔芸術デザインコース〕、口頭試問〔地域マネジメントコース〕と研究計画書及び研究業績書によって評価します。基礎学力及び専門的知識と明確な志望動機や入学後の研究意欲等を、成績証明書及び志望理由書によって評価します。

外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、外国人留学生入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、専門科目に関する筆記試験、小論文〔芸術デザインコース〕及び成績証明書によって評価します（筆記試験は口述試験に変更される場合があります）。また、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質、明確な志望動機や入学後の研究意欲等を、面接（口頭試問を含む。）と研究計画書、志望理由書によって評価します。なお、地域マネジメントコースでは、日本語と英語による入試のどちらかを選択できます。

地域デザイン研究科で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象コース
大学院で学ぶために必要な汎用的な基礎学力及び専門的な知識	専門科目と外国語の筆記試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	一般入試	全コース
	専門科目の筆記試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	社会人特別入試	芸術デザインコース
	専門科目の筆記試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	外国人留学生入試	全コース
	小論文によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生入試	芸術デザインコース
	小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」及び「日本語能力」を評価します。	外国人留学生入試 (日本語による入試)	地域マネジメントコース
	英語の小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」を評価します。	外国人留学生入試 (英語による入試)	地域マネジメントコース
	成績証明書によって、最終出身学校での学業成績、学習態度を評価します。	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生入試	全コース
	面接(口頭試問を含む。)によって、日本語の会話能力を評価します。	外国人留学生入試 (日本語による入試)	全コース
	面接(口頭試問を含む。)によって、英語の会話能力を評価します。	外国人留学生入試 (英語による入試)	地域マネジメントコース
専門分野における学習能力や研究遂行能力	口頭試問によって、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を評価します。	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生入試	全コース
	実務経験に基づいて作成した論文によって、明確な問題意識や研究課題を有しているかを評価します。	社会人特別入試	地域マネジメントコース
	研究計画書によって、これまでの研究概要と入学後の研究計画を評価します。	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生入試	全コース
	研究業績書によって、これまでの研究実績及び研究内容を評価します。	社会人特別入試	全コース
	活動ポートフォリオ等によって、専門分野で学ぶために必要な能力や資質について評価します。	社会人特別入試	芸術デザインコース
志望コースで学ぶための明確な志望動機や入学後の意欲	志望理由書によって、志望コースで学ぶ動機、意欲、積極性等を評価します。	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生入試	全コース
	面接(口頭試問を含む。)によって、研究意欲等を評価します。	外国人留学生入試	全コース

Ⅱ 募集人員

研究科 ・専攻	コース	募集人員	
		2027 年 4 月入学	
		一般入試・外国人 留学生入試	社会人特別入試
地域デザイン 研究科	芸術デザイン コース	若干人	若干人
地域デザイン 専攻	地域マネジメント コース	8 人	若干人

（注）一般入試及び外国人留学生入試の募集人員の内訳は定めておりません。

Ⅲ 共通事項

出願時に佐賀大学に在籍していない者は出願の手続きをする前に、必ず研究指導を希望する教員と連絡を取り、入学後の研究内容などについて相談を行ってください。連絡先が分からない場合は学務部入試課のメールアドレス (contact@mail.admin.saga-u.ac.jp) にお問い合わせください。

各教員の研究内容等については下記から参照

[リサーチマップ研究者検索（外部サイト）](#)

i. 出願手続等

(1) 出願期間

2026 年 10 月 22 日（木）～10 月 29 日（木）

- ① 郵送の場合は、「簡易書留」とし、出願期間最終日の 17 時必着とします。
- ② 持参の場合は、土曜日、日曜日及び祝日を除き、毎日 9 時から 17 時まで受け付けます。

(2) 出願手続

出願完了には、下記①～④の全ての手続が必要です。いずれか1つでも定められた期間内に完了できていない場合、願書を受理できません。インターネット環境がない等の理由で、インターネットによる出願登録を行えない場合は、学務部入試課まで相談してください。相談時期によっては、出願が間に合わない場合がありますので、早めにご連絡してください。

① 入学検定料の支払い

検定料を納入後、銀行窓口において出納印が押印された「C票 佐賀大学検定料振込証明書」を受領してください（②のインターネット出願登録時に必要です）。

② インターネットによる出願登録（登録にはEメールアドレスが必要です。）

Eメールアドレスを出願者本人が保有していない場合は、同居の家族など、本人に送信内容が容易かつ確実に伝達できるものであれば、それを使っても構いません。

※ 登録するメールアドレスは、本学入学後も利用できるものである必要があります（大学から付与されたメールアドレスなど、卒業(修了)すると利用できなくなるものは登録しないでください）。

以下のURLから専用出願システム（J-Bridge System）に登録し、必要事項を入力するとともに、①で受領した「C票 佐賀大学検定料振込証明書」の写真をアップロードしてください。

https://j-bridgesystem.jp/app/applications/start?university_id=1425gs

③ インターネットによる出願登録情報の印刷

②で全ての項目の登録が終わったら、「印刷画面」ボタンから全ての項目を印刷（両面印刷推奨）し、出願書類に同封してください。

④ 出願書類等の郵送

出願書類を角形2号の封筒に入れてください。また、「出願用封筒」に必要事項を記入し、封筒に貼付の上、提出期間内に到着するよう「速達簡易書留」で郵送してください。なお、出願書類の様式は、本学ホームページの大学院学生募集要項掲載ページからダウンロードしてください。出願用封筒については、学務部入試課窓口でも配布しています。[大学院学生募集要項掲載ページ](#)

※ 出願書類は返却されません。必要な場合は控えを取っておくなどしてください。

なお、出願登録の際「整理番号」の入力を求められます。「整理番号」は志願者本人の「携帯電話番号下4桁#生年月日（西暦8桁）」を半角で入力してください。

例) 携帯電話番号：090-1234-5678, 2003年4月2日生まれの場合 → 「5678#20030402」が整理番号となります。

(3) 提出先

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1
佐賀大学学務部入試課

(4) 受験票及び受験案内について

受験票及び受験案内は、志願者自身でJ-Bridge Systemからダウンロードします。試験日の1週間前までに、出願時に登録されたEメールアドレス宛てに『【J-Bridge System】追加申請に関するお知らせ「佐賀大学大学院 【受験票・受験案内送付】 4月入学 地域デザイン研究科（●●入試）2次募集_2027年度入試』という件名のメールを送信します。同メールに受験票及び受験案内のダウンロード方法が記載されています。受験票についてはA4サイズの紙に印刷し、受験時に必ず持参してください。本学から郵送等による受験票送付はいたしません。受験案内については、当日の集合場所等が記載されていますので、必ず事前に内容を確認してください。

なお、期日までにメールが届かない場合は、平日の9時から17時までの間に学務部入試課へお問い合わせください。

ii. 試験日

2026年12月6日（日）

iii. 合格者発表

2026年12月22日（火）10時

- (1) 合格者の発表は、本学所定の合格通知書をもって通知します。また、以下の合格者発表 Web サイトに合格者の受験番号を掲載します。

- ・合格者発表 Web サイト（学外サイト）

https://admission.telemail.jp/shingaku/topics_g/successes/school/10003494

※パソコン及びスマートフォン・タブレット端末によるアクセスが可能

※事前に上記 Web サイトをブックマーク登録しておくことをお勧めします。

※合格者発表直後は、回線が大変込み合うため、接続に時間がかかる場合があります。

※やむを得ない事態が生じた場合、ウェブサイトへの掲載を一時中断することがあります。

- ・発表期日及び掲載期間

2026年12月22日（火）10時 ～ 2026年12月29日（火）まで

- (2) 電話による合否に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。



iv. 入学手続

入学手続については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

また、入学手続は、オンラインにより行います。

入学手続期間

2027年1月18日（月）～1月21日（木）

※期間内に入学手続をしなかった者は、入学辞退者とします。

v. 納入金

入学料：282,000円（入学手続時に納入してください。）

授業料：267,900円（前期・後期）[年額535,800円]

※この金額は、2026年4月現在のものです。

(留意事項)

- (1) 入学時又は在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定後の入学料及び授業料を納入していただくことになります。
- (2) なお、合格通知書送付の際、納入方法等改めてお知らせします。授業料は、入学手続き時に納入する必要はありません。納入予定期間は、下記の通りです。
(入学後に付与される学籍番号が必要となります。)

【2027年4月入学】入学式～5月31日

一旦、納入された入学料は返還できません。

- (3) 入学料の免除及び徴収猶予ならびに授業料の免除については、合格者に送付する関係書類を熟読の上、学務部学生生活課に申し出てください。
なお、入学料免除及び徴収猶予の申請をした者で、入学を辞退する場合は入学料の全額を納付してください。

vi. 奨学金

学業優秀で、経済的な理由により修学が困難な学生の皆さんのために奨学金制度が準備されています。

① 日本学生支援機構奨学金

- ・ 第一種奨学金（無利子）
貸与月額50,000円又は88,000円
- ・ 授業料後払い制度（無利子）
授業料支援金 上限額 年間535,800円
生活費奨学金 貸与月額 20,000円又は40,000円
- ・ 第二種奨学金（有利子）
貸与月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択

② その他の奨学金

この他に地方公共団体及び民間育英団体等の奨学金制度があります。詳しくは、次の問い合わせ先にお尋ねください。

奨学金に関する問い合わせ先

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部学生生活課奨学金担当

TEL 0952-28-8172

vii. 教育職員免許状

取得できる専修免許状は、以下のとおりです。ただし、専修免許状の所要資格を得ようとする場合は、取得しようとする専修免許状（中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状については、その免許教科）の一種免許状を有することが必要です。

コース	取得できる専修免許状	
	種類	教科
芸術デザインコース	中学校教諭専修免許状	美術
	高等学校教諭専修免許状	美術、工芸
地域マネジメントコース	高等学校教諭専修免許状	商業

viii. 出願上の留意事項

- ① 入学志願票の記入事項及び書類等の不備のものは受け付けません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。
また、既納の入学検定料は一切返還しません。
- ③ 佐賀大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人佐賀大学安全保障輸出管理

規程」「国立大学法人佐賀大学安全保障輸出管理実施細則」を定め、輸出管理を行っています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。また、外国人留学生を通じた技術・貨物の流出を防止する目的で、受け入れる外国人留学生に対して、入学時に誓約書の署名・提出をお願いしています。

<https://www.irdc.saga-u.ac.jp/foreignstudent/securityexportcontrol/>

④ 出願に関する問い合わせ先

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課
TEL 0952-28-8178

ix. 受験にあたっての主な注意事項

(1) 以下の行為は、不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室の措置を取り、それ以後の受験はできなくなり、受験したすべての教科・科目等（筆記試験、面接、書類審査含む）の成績を無効とします。また、不正行為の態様によっては、警察に被害届を提出する場合があります。

- ① J-Bridge System から取得した受験票等の内容を改ざんすること。
- ② 解答用紙へ故意に虚偽の記入（本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- ③ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書・参考書・辞書（芸術デザインコースの外国語科目において持ち込みを許可しているものを除く）等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
- ④ 他の受験者に答えを教える等カンニングの手助けをすること。
- ⑤ 試験時間中に問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑦ 試験開始前に問題冊子を開いて解答を始めること。また、試験終了の指示に従わず、鉛筆等を持っていたり解答を続けること。
- ⑧ 試験時間中に、スマートフォンや携帯電話、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。なお、通信機能のある電子機器類（スマートフォン、携帯電話、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていないければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります）。また、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとし、不正行為となります。
- ⑨ 試験時間中に、持ち込みを許可されたもの以外の補助具（電卓、そろばん、グラフ用紙等）を使用すること。

(2) 以下の行為は、不正行為となることがあります。不正行為と認定された場合の取り扱いは、上記(1)と同じです。

- ① 試験時間中に、教科書・参考書・辞書等の書籍類、持ち込みを許可されたもの以外の補助具（電卓、そろばん、グラフ用紙等）、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類をかばんにしまわず、身に付けていたり、手に持っていること。
- ② 試験時間中にスマートフォンや携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間

鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

④ 試験場、試験室及び控室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。

⑤ 試験場、試験室及び控室において、監督者等の指示に従わないこと。

⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

- (3) 試験当日は身分証明書(氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験日において有効なもの。)を持参してください。不正行為が疑われる場合や受験票を持参し忘れた場合など、本人確認のために提示を求めることがあります。

x. 災害救助法が適用されている地域で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1) 免除の対象となる者

佐賀大学の学部又は大学院に入学を志願する者のうち、災害救助法(昭和22年法律第118号)が適用されている地域で被災し、次のいずれかに該当する者

(ア) 災害により、主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出の被害を受けた者

(イ) 災害により、主たる家計支持者が死亡した者

2) 対象となる入学試験及び措置内容

災害が発生した後に実施する学部入試(編入学を含む)及び大学院入試に係る入学検定料を全額免除(入試成績の開示手数料は除く。)する。

3) 免除の対象となる期間

上記2)の入学試験は当該災害が発生した年度及び翌年度までの2年間に実施予定のものとする。

4) 申請方法

申請予定者は、電話による事前審査を行いますので、出願を行う前に学務部入試課にご連絡の上、次の申請書類を入学者選抜試験の出願書類とともに提出してください。

(ア) 検定料免除申請書 本学ホームページ「[受験生の方へ→大学院入試→募集要項](#)」からダウンロードできます。

(イ) 被災証明書又は被害証明書(上記1)(ア)に該当する者)

(ウ) 死亡を証明する書類(上記1)(イ)に該当する者)

出願後に免除の対象となった者には、出願年度に限り入学検定料の返還を行いますので、学務部入試課までご連絡ください。

xi. 障がい等のある志願者との事前相談

障がい等のある志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、本学ホームページ「[受験生の方へ→大学院入試→募集要項](#)」から「障がい等のある志願者による事前相談申請書」をダウンロードし、以下の書類を添えて学務部入試課に送付し相談してください。

なお、本学では、ウェルビーイング創造センター学修支援部門を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

*添付書類

- 医師の診断書

*相談の期限

出願開始日の1週間前まで

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に不慮の事故等により受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、その時点で速やかに相談してください。

*受験上の配慮の一例

- 試験時間の延長
- 1 階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験
- 多目的トイレに近い試験室で受験
- 座席を最前列／最後列／出入口付近等に指定
- 別室の設定
- 補聴器又は人工内耳の装用
- 特製机・椅子の持参使用
- 車椅子の持参使用
- 杖の持参使用
- 拡大文字問題冊子の配付
- 注意事項等の文書による伝達
- 試験場への乗用車での入構
- 試験室入口までの付添者の同伴

xii. インターネット出願登録及び出願書類記入上の注意

1 共通事項

- ・ インターネット出願登録及び出願書類の記入は、募集要項を熟読の上行ってください。
- ・ 出願書類の「※」印欄は、記入しないでください。
- ・ 氏名の漢字は常用漢字で入力してください。環境依存文字及び機種依存文字は受験票や合格通知書に印字することができませんので、常用漢字に置き換えて入力してください。

【置き換えの例】

高 → 高	崎 → 崎	栞 → 栞
土 → 土	吉 → 吉	原 → 原

2 インターネット出願登録

- ・ 項目により、登録方法が選択肢、コード入力、自由記述に分かれています。
(注1) 選択肢形式の項目については、選択肢の先頭にコードが表示されています。システム内部で識別するためのもので出願に影響はありませんので、無視していただいて結構です。
(注2) コード入力形式の項目については、「佐賀大学大学院出願コード表」をもとに、「コード（半角）+半角スペース+名称（全角）」を入力してください。
入力例) 001 情報デザイン
(注3) 「国・地域」について、日本国籍を有しない方は、出願書類の「在留資格を証明する書類」に記載されている国籍・地域を入力してください。
- ・ 本学から出願書類等について連絡する場合もあるので、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス等の情報は正確に入力してください。出願後、これらの情報に変更があった場合は電話連絡するとともに、メール等でもお知らせください。
(連絡先) 佐賀大学学務部入試課
メール contact@mail.admin.saga-u.ac.jp, 電話 0952-28-8178
〒840-8502 佐賀市本庄町1番地
- ・ 「保護者等」とは、本人以外の連絡が取れる家族等を指します。

IV 芸術デザインコース

出願資格・出願書類・入試方法・試験日程等

IV- i 一般入試

1 教育研究分野

コース	教育研究分野
芸術デザインコース	芸術，アートマネジメント，地域・フィールド

2 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び2027年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。以下同じ。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者[次頁の(注2)を参照してください。]
- (10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[次頁の(注2)を参照してください。]

- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日において満22歳に達した者（学校教育法施行規則第155条第1項第8号）[下記の(注1)及び(注2)を参照してください。]

(注1) 出願資格(13)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

(注2) 出願資格(9)、(10)、(11)、(12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください（ただし、③については出願資格(10)、(11)及び(12)による出願希望者のみ）。

- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、2026年10月7日（水）までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書（様式M7－2）」に「入学試験出願資格認定審査調書（様式M8－2）」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。
なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。
- ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。
- ③ 出願資格(10)、(11)及び(12)による者で、入学試験に合格した者に対しては、2027年3月までに提出された成績証明書等により、入学資格要件（事前に本人に通知します。）を審査します。
審査の結果、入学資格要件を満たしていないと認定された者は、入学できません。

3 出願書類等（一般入試）

下記の出願書類を学務部入試課ホームページから、ダウンロードして提出してください。

https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html

出願書類等		備考
銀行窓口での納入	入 学 検 定 料 30,000円	本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 ただし、次に該当する方は納入しないでください。 ・国費外国人留学生 次の場合は、<u>検定料の返還請求ができます</u>ので、必ず手続きをしてください。 ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合 なお、返還請求の方法等については、学務部入試課までお問い合わせください。 上記以外の事由による既納の検定料は、いかなる理由があっても一切返還しません。
	C 票 佐 賀 大 学 検 定 料 振 込 証 明 書	検定料を納入後、銀行窓口において出納印が押印された「C 票 佐賀大学検定料振込証明書」を受領してください。「C 票 佐賀大学検定料振込証明書」の写真を撮り、インターネット出願登録時にアップロードしてください。写真のサイズや縦横比は問いませんが、画質が悪く文字が判別できないものは不可とします。
インターネット出願システムより登録・印刷	登 録 情 報 を 印 刷 し た 紙	インターネットによる出願登録が終わったら、「印刷画面」ボタンから全ての項目を A4 サイズの紙に印刷（両面印刷推奨）し、提出してください。
	写 真 票	※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前 3 か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。
書面で準備する資料	履 歴 書 （ 様 式 M 2 - 2 ） （出願資格(3), (4), (5)及び(6)による出願希望者のみ）	本学所定の様式を用いてください。
	成 績 証 明 書	最終出身学校の成績証明書 佐賀大学の証明書は封緘不要です。
	卒 業 （ 修 了 ） 証 明 書 又 は 卒 業 （ 修 了 ） 見 込 証 明 書 等 ^(注1)	出身大学等作成のもの。^(注2) 佐賀大学の証明書は封緘不要です。
	志 望 理 由 書 （ 様 式 M 3 - 2 ）	本学所定の用紙を用いてください。
	研 究 計 画 書 （ 様 式 M 4 - 2 ）	本学所定の用紙を用いてください。
	研 究 ・ 活 動 ポ ー ト フ ォ リ オ 又 は 卒 業 研 究 の 概 要 ^(注3)	研究・活動ポートフォリオは以下の形式で作成し、CD-ROM で提出すること。 ・活動内容や作品の画像等を 10 頁以内で PDF にまとめること。 ・PDF の書類の向きは横位置に設定すること。 ・活動内容や作品の画像には、解説やキャプション（作品タイトル、制作年、技法・材料、サイズ等）を付けること。 ・別途、動画資料（Windows Media player 又は QuickTime player で再生可能な形式にしておくこと。）を添付する場合は 5 分以内で 1 つのデータファイルにまとめること。 ・CD-ROM のレーベル面に氏名を記載すること。 ※提出した CD-ROM は返却しません。 卒業研究の概要は任意の様式（A4 版 1 枚）で提出すること。

出願書類等		備考
書面で準備する資料	「住民票」又は「在留カード」の写し（日本国籍を有しない者のみ）	○現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カードの表裏両面をコピーしたものでも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。

（注１）合格者について、2027年3月卒業見込みの者（本学出身者を除きます。）は「卒業証明書」を、出願資格（２）にかかる学位取得見込み者は、「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を卒業後速やかに学務部入試課へ提出してください。

（注２）出願資格（２）にかかる者のうち、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科等を卒業（修了）見込みの者については、学士の学位の授与申請予定証明書を添付してください。

（注３）希望する教育研究分野が芸術の出願者は、「研究・活動ポートフォリオ」を提出してください。

4 入試方法

入学者の選抜は、筆記試験（外国語科目、小論文及び専門科目）、面接（口頭試問を含む。）、成績証明書等を総合して判定します。受験する専門科目は、出願の際にあらかじめ選択してください。選択した科目以外では受験できません。

① 筆記試験

ア 外国語科目（英語）

英和辞書持ち込み可（電子辞書を除きます。）

イ 小論文及び専門科目

小論文と専門科目は同じ試験時間内に回答します。

専門科目は、希望する教育研究分野の出題科目のうちから、1科目を選択してください。

教育研究分野	出題科目
芸術	情報デザイン、彫刻、日本画、窯芸、ミクストメディア、映像デザイン、コンテンツデザイン、西洋画、漆・木工芸、染色工芸
アートマネジメント	博物館学、資料保存、インターカルチュラルコミュニケーション、美術史・美術理論、アートマネジメント・プロデュース
地域・フィールド	考古学、都市デザイン、地理学、エリアスタディー、文化交流史

② 面接（口頭試問を含む。）

受験者は、提出した研究・活動ポートフォリオ又は卒業研究の概要を使用して5分間のプレゼンテーションを行う。その上で質疑応答を行い、志願者の研究意欲、研究能力等を判定します。

5 配点等

科目等 選抜方法	外国語	小論文 及び 専門科目	面接	研究 計画	研究・活動 ポートフォリオ	総合得点
一般入試	100	100	100	100	100	500

6 採点・評価基準

① 外国語科目（英語）、小論文

外国語科目（英語）、小論文では、芸術やフィールドデザインを専門的・学術的に研究するために必要な基礎知識と物理的に物事を考える力、英語の文献を参照できる読解力及びリサーチ能力を総合的に評価します。

② 専門科目、面接、研究計画、研究・活動ポートフォリオ

専門科目、面接、研究計画、研究・活動ポートフォリオをとおして、高度な専門知識や技術を学ぶために必要な基礎学力と実技、及び自分の考えをしっかりと説明できるコミュニケーション能力を総合的に評価します。

5 試験日程等

(1) 集合時間・集合場所（受験票を必ず持参してください。）

2026年12月6日（日）

（集合時間・集合場所は、受験票送付の際に併せて通知します。）

(2) 学力試験等日程

試験時間	内容
9：00～10：30	外国語科目
11：00～12：30	小論文及び専門科目（同じ試験時間内に回答します。）
13：45～	面接（口頭試問を含む。）

IV-ii 社会人特別入試

1 趣 旨

科学技術の進歩，社会の複雑化のなかで社会人の学修希望が高まり，再教育に対するニーズが高まっています。

本学大学院においては，大学卒業後，社会経験を経た人を受け入れて，大学学部より高度の研究活動を行い，開かれた大学院として社会に役立つ研究と技術開発の推進を図り，あわせて，生涯教育に寄与しようとするものです。

この選抜により入学した者に対しては，大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。＜23ページ参照＞

2 教育研究分野

コース	教育研究分野
芸術デザインコース	芸術，アートマネジメント，地域・フィールド

3 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者で，入学時に社会人として2年以上[入学する月（4月）の前までの間]の勤務経験を有し，かつ職業を有する者，又は，大学を卒業して5年以上[入学する月（4月）の前までの間]の者としてします。ただし，勤務先から在職のまま派遣される者については，2年以上の勤務経験は問いません。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。以下同じ。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定する

ものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日において満22歳に達した者（学校教育法施行規則第155条第1項第8号）[下記の(注1)及び(注2)を参照してください。]

(注1) 出願資格(13)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

(注2) 出願資格(9)，(10)，(11)，(12)，及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。

- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、2026年10月7日（水）までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書（様式M7－3）」に「入学試験出願資格認定審査調書（様式M8－3）」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等の提出を求めることや面接を行うことがあります。
- ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。

4 出願書類等（社会人特別入試）

下記の出願書類を学務部入試課ホームページから、ダウンロードして提出してください。

https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html

出願書類等		備考
銀行窓口での納入	入 学 検 定 料 30,000円	本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 ただし、次に該当する方は納入しないでください。 ・国費外国人留学生 次の場合は、<u>検定料の返還請求ができます</u>ので、必ず手続きをしてください。 ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合 なお、返還請求の方法等については、学務部入試課までお問い合わせください。上記以外の事由による既納の検定料は、いかなる理由があっても一切返還しません。
	C 票 佐 賀 大 学 検 定 料 振 込 証 明 書	検定料を納入後、銀行窓口において出納印が押印された「C 票 佐賀大学検定料振込証明書」を受領してください。「C 票 佐賀大学検定料振込証明書」の写真を撮り、インターネット出願登録時にアップロードしてください。写真のサイズや縦横比は問いませんが、画質が悪く文字が判別できないものは不可とします。
システムより登録・印刷	登 録 情 報 を 印 刷 し た 紙	インターネットによる出願登録が終わったら、「印刷画面」ボタンから全ての項目を A4 サイズの紙に印刷（両面印刷推奨）し、提出してください。
	写 真 票	※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。
書面で準備する資料	履 歴 書 （ 様 式 M 2 - 3 ） （出願資格(3),(4),(5)及び(6)による出願希望者のみ）	本学所定の様式を用いてください。
	成 績 証 明 書	最終出身学校の成績証明書 佐賀大学の証明書は封緘不要です。
	卒 業 （ 修 了 ） 証 明 書 等	出身大学等作成のもの。 佐賀大学の証明書は封緘不要です。
	志 望 理 由 書 （ 様 式 M 3 - 3 ）	本学所定の用紙を用いてください。
	研 究 計 画 書 （ 様 式 M 4 - 3 ）	本学所定の用紙を用いてください。
	研 究 業 績 書 （ 様 式 M 5 - 3 ）	本学所定の用紙を用いてください。研究業績書に記載した研究報告・論文・作品等（原本又は写し3件以内）を添付してください。
	研 究 ・ 活 動 ポ ー ト フ ォ リ オ	研究・活動ポートフォリオは以下の形式で作成し、CD-ROMで提出すること。 ・活動内容や作品の画像等を10頁以内でPDFにまとめること。 ・PDFの資料の向きは横位置に設定すること。 ・活動内容や作品の画像には、解説やキャプション（作品タイトル、制作年、技法・材料、サイズ等）を付けること。 ・別途、動画資料（Windows Media player 又は QuickTime player で再生可能な形式にしておくこと。）を添付する場合は5分以内で1つのデータファイルにまとめること。 ・CD-ROMのレーベル面に氏名を記載すること。 ※提出したCD-ROMは返却しません。

出願書類等		備考
書面で準備する資料	出 願 承 認 書 (様 式 M 6 - 3) (在 職 中 の 者 の み)	本学所定の用紙を用いてください。
	推 薦 書 (様 式 は 任 意)	勤務先所属長又は従事した勤務先所属長が推薦し、厳封したもの。ただし、任意提出とします。
	「 住 民 票 」 又 は 「 在 留 カ ー ド 」 の 写 し (日 本 国 籍 を 有 し な い 者 の み)	○現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」 (在留資格が記載されたもの)を提出してください。(在留カードの表裏両面をコピーしたものでも可) ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し(写真及び在留資格・期間の分かるページ)を提出してください。

5 入試方法

入学者の選抜は、筆記試験（小論文及び専門科目）、面接（口頭試問を含む。）、成績証明書等を総合して判定します。受験する専門科目は、出願の際にあらかじめ選択してください。選択した科目以外では受験できません。

① 筆記試験

ア 小論文及び専門科目

小論文と専門科目は同じ試験時間内に回答します。

専門科目は、希望する教育研究分野の出題科目のうちから、1科目を選択してください。

教育研究分野	出題科目
芸術	情報デザイン、彫刻、日本画、窯芸、ミクストメディア、 映像デザイン、コンテンツデザイン、西洋画、漆・木工芸、染色工芸
アートマネジメント	博物館学、資料保存、インターカルチュラルコミュニケーション、美術史・ 美術理論、アートマネジメント・プロデュース
地域・フィールド	考古学、都市デザイン、地理学、エリアスタディー、文化交流史

② 面接（口頭試問を含む。）

受験者は、提出した研究・活動ポートフォリオを使用して5分間のプレゼンテーションを行う。その上で質疑応答を行い、志願者の研究意欲、研究能力等を判定します。

6 試験日程等

(1) 集合時間・集合場所（受験票を必ず持参してください。）

2026年12月6日（日）（集合時間・集合場所は、受験票送付の際に併せて通知します。）

(2) 学力試験等日程

試験時間	内容
11：00～12：30	小論文及び専門科目（同じ試験時間内に回答します。）
13：45～	面接（口頭試問を含む。）

7 配点等

科目等 選抜方法	小論文 及び 専門科目	面接	研究 計画	研究・活動 ポートフォリオ	研究 業績	総合得点
社会人特別入試	100	100	100	100	100	500

8 採点・評価基準

① 小論文

小論文では、芸術やフィールドデザインを専門的・学術的に研究するために必要な基礎知識と物理的に物事を考える力、読解力及びリサーチ能力を総合的に評価します。

② 専門科目、面接、研究計画、研究・活動ポートフォリオ、研究業績

専門科目、面接、研究計画、研究・活動ポートフォリオ、研究業績をとおして、高度な専門知識や技術を学ぶために必要な基礎学力と実技、及び自分の考えをしっかりと説明できるコミュニケーション能力を総合的に評価します。

9 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について

本学大学院地域デザイン研究科では、大学院での履修を希望する社会人に対し、同条に定める教育方法の特例による教育を実施します。この概要は、次のとおりです。

(1) 修業年限

修業年限は2年とする。長期履修に関しては、佐賀大学大学院学則第16条に従い、原則として入学時に学生からの申し出があった場合、研究科委員会の審議によってこれを認める。

(2) 履修指導及び研究指導の方法

指導教員は、社会人であることを考慮して、個々人の勤務状況に応じた適切な履修計画を指導する。

(3) 授業実施方法

社会人学生は、指導教員及び担当教員と相談のうえ、夜間の時間（18:00～19:30）又は集中講義として休業期間中に授業を受けることができる。

IV-iii 外国人留学生入試

1 教育研究分野

コース	教育研究分野
芸術デザインコース	芸術，アートマネジメント，地域・フィールド

2 出願資格

日本の国籍を有しない（日本国の永住許可を得ていない）者で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した後、日本の大学に入学し、卒業した者及び2027年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。以下同じ。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者[次頁の(注2)を参照してください。]
- (10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得した

ものと認めた者[次頁の(注2)を参照してください。]

(11) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]

(12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]

(13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日において満22歳に達した者（学校教育法施行規則第155条第1項第8号）[下記の(注1)及び(注2)を参照してください。]

(注1) 出願資格(13)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

(注2) 出願資格(9)、(10)、(11)、(12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。（ただし、③については出願資格(10)、(11)及び(12)による出願希望者のみ）。

① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、2026年10月7日（水）までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書（様式M7-4）」に「入学試験出願資格認定審査調書（様式M8-4）」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。

なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。

② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。

③ 出願資格(10)、(11)及び(12)による者で、入学試験に合格した者に対しては、2027年3月までに提出された成績証明書等により、入学資格要件（事前に本人に通知します。）を審査します。

審査の結果、入学資格要件を満たしていないと認定された者は、入学できません。

3 出願書類等（外国人留学生入試）

下記の出願書類を学務部入試課ホームページから、ダウンロードして提出してください。

https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html

出願書類等		備考
銀行窓口での納入	入 学 検 定 料 30,000円	本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 ただし、次に該当する方は納入しないでください。 ・国費外国人留学生 次の場合は、<u>検定料の返還請求</u>ができますので、必ず手続きをしてください。 ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合 なお、返還請求の方法等については、学務部入試課までお問い合わせください。上記以外の事由による既納の検定料は、いかなる理由があっても一切返還しません。
	C 票 佐賀大学検定料振込証明台紙	検定料を納入後、銀行窓口において出納印が押印された「C 票 佐賀大学検定料振込証明書」を受領してください。「C 票 佐賀大学検定料振込証明書」の写真を撮り、インターネット出願登録時にアップロードしてください。写真のサイズや縦横比は問いませんが、画質が悪く文字が判別できないものは不可とします。
インターネット出願システムより登録・印刷	登 録 情 報 を 印 刷 し た 紙	インターネットによる出願登録が終わったら、「印刷画面」ボタンから全ての項目を A4 サイズの紙に印刷（両面印刷推奨）し、提出してください。
	写 真 票	※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前 3 か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。
書面で準備する資料	成 績 証 明 書	最終出身学校の成績証明書 佐賀大学の証明書は封緘不要です。
	卒 業（修了）証 明 書 又 は 卒 業（修了）見込証明書等（注 1）	出身大学等作成のもの。（注 2） 佐賀大学の証明書は封緘不要です。
	志 望 理 由 書 （ 様 式 M 3 - 4 ）	本学所定の用紙を用いてください。
	研 究 計 画 書 （ 様 式 M 4 - 4 ）	本学所定の用紙を用いてください。
	研 究 ・ 活 動 ポ ー ト フ ォ リ オ 又 は 卒 業 研 究 の 概 要（注 3）	研究・活動ポートフォリオは以下の形式で作成し、CD-ROM で提出すること。 ・活動内容や作品の画像等を 10 頁以内で PDF にまとめること。 ・PDF の書類の向きは横位置に設定すること。 ・活動内容や作品の画像には、解説やキャプション（作品タイトル、制作年、技法・材料、サイズ等）を付けること。 ・別途、動画資料（Windows Media player 又は QuickTime player で再生可能な形式にしておくこと。）を添付する場合は 5 分以内で 1 つのデータファイルにまとめること。 ・CD-ROM のレーベル面に氏名を記載すること。 ※提出した CD-ROM は返却しません。 卒業研究の概要は任意の様式（A4 版 1 枚）で提出すること。
	履 歴 書 （ 様 式 M 2 - 4 ）	本学所定の用紙を用いてください。

出願書類等		備考
書面で準備する資料	「住民票」又は「在留カード」の写し（日本国籍を有しない者のみ）	○現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カードの表裏両面をコピーしたものでも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。

（注１）合格者について、2027年3月卒業見込みの者（本学出身者を除きます。）は「卒業証明書」を、出願資格(2)にかかる学位取得見込み者は、「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を卒業後速やかに学務部入試課へ提出してください。

（注２）出願資格(2)にかかる者のうち、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科等を卒業（修了）見込みの者については、学士の学位の授与申請予定証明書を添付してください。

（注３）希望する教育研究分野が芸術の出願者は、「研究・活動ポートフォリオ」を提出してください。

4 入試方法

入学者の選抜は、筆記試験（小論文及び専門科目）、面接（口頭試問を含む。）、成績証明書等を総合して判定します。受験する専門科目は、出願の際にあらかじめ選択してください。選択した科目以外では受験できません。

① 筆記試験

ア 小論文及び専門科目

小論文と専門科目は同じ試験時間内に実施します。

専門科目は、希望する教育研究分野の出題科目のうちから、1科目を選択してください。

教育研究分野	出題科目
芸術	情報デザイン、彫刻、日本画、窯芸、ミクストメディア、映像デザイン、コンテンツデザイン、西洋画、漆・木工芸、染色工芸
アートマネジメント	博物館学、資料保存、インターカルチュラルコミュニケーション、美術史・美術理論、アートマネジメント・プロデュース
地域・フィールド	考古学、都市デザイン、地理学、エリアスタディー、文化交流史

② 面接（口頭試問を含む。）

受験者は、提出した研究・活動ポートフォリオ又は卒業研究の概要を使用して5分間のプレゼンテーションを行う。その上で質疑応答を行い、志願者の研究意欲、研究能力等を判定します。

5 試験日程等

(1) 集合時間・集合場所（受験票を必ず持参してください。）

2026年12月6日（日）（集合時間・集合場所は、受験票送付の際に併せて通知します。）

(2) 学力試験等日程

試験時間	内容
11：00～12：30	小論文及び専門科目（同じ試験時間内に回答します。）
13：45～	面接（口頭試問を含む。）

6 配点等

科目等 選抜方法	小論文 及び 専門科目	面接	研究 計画	研究・活動 ポートフォリオ	総合得点
外国人留学生入試	100	100	100	100	400

7 採点・評価基準

① 小論文

小論文では、芸術やフィールドデザインを専門的・学術的に研究するために必要な基礎知識と物理的に物事を考える力、読解力及びリサーチ能力を総合的に評価します。

② 専門科目、面接、研究計画、研究・活動ポートフォリオ

専門科目、面接、研究計画、研究・活動ポートフォリオをとおして、高度な専門知識や技術を学ぶために必要な基礎学力と実技、及び自分の考えをしっかりと説明できるコミュニケーション能力を総合的に評価します。

IV-iv 教育研究分野等

■ 芸術デザインコース

教育 研究 分野	授業科目	分野	担当教員名
芸 術	視覚デザイン特別研究 a 視覚デザイン特別研究 b	視覚伝達デザイン	2027 年度の開講は未定です。
	情報デザイン特別研究 a 情報デザイン特別研究 b	情報デザイン	阿部 浩之（准教授）
	彫刻素材技法特別研究 彫刻表現特別研究	彫刻	徳安 和博（教授）
	日本画素材技法特別研究 日本画表現特別研究	日本画	近藤 恵介（准教授）
	窯芸素材技法特別研究 窯芸表現特別研究 やきものによる地域創生	陶磁表現	田中 右紀（教授）
	現代美術特別研究 a 現代美術特別研究 b	ミクストメディア	土屋 貴哉（教授）
	映像デザイン特別研究 a 映像デザイン特別研究 b	映像デザイン	2027 年度の開講は未定です。
	コンテンツデザイン特別研究 a コンテンツデザイン特別研究 b	コンテンツデザイン	2027 年度の開講は未定です。
	西洋画素材技法特別研究 西洋画表現特別研究	西洋画	富田 俊明（准教授）
	漆・木工芸素材技法特別研究 漆・木工表現特別研究	漆・木工芸	井川 健（教授）
	染色工芸素材技法特別研究 染色工芸表現特別研究	染色工芸	鳥谷 さやか（准教授）
	陶磁素材特別研究 a 陶磁素材特別研究 b	陶磁表現	湯之原 淳（教授）
	肥前陶磁技法特別研究 a 肥前陶磁技法特別研究 b	陶磁装飾成形	甲斐 広文（准教授）
	プロダクトデザイン特別研究 a プロダクトデザイン特別研究 b	陶磁プロダクトデザイン	三木 悦子（准教授）

教育 研究 分野	授業科目	分野	担当教員名
アート マネ ジ メ ン ト	キュレーション特別研究 a キュレーション特別研究 b	博物館学	藤井 康隆（准教授）
	芸術文化遺産特別研究 アートコンサベーション特別研究	資料保存	石井 美恵（教授）
	異文化コミュニケーション a 異文化コミュニケーション b	インターカルチュラル コミュニケーション	ホートン・ステファニー・アン（教授）
	美術史特別研究 I 美術史特別研究 II	美術史・美術理論	吉住 磨子（教授）
	キュレーション演習 アートマネジメント・プロデュース特別研究 a アートマネジメント・プロデュース特別研究 b	アートマネジメント・ プロデュース	花田 伸一（教授）
地域・ フイ ールド	ヘリテージマネジメント論 ヘリテージマネジメント特別研究	考古学	重藤 輝行（教授）
	都市デザイン論 都市デザイン特別研究	都市デザイン	有馬 隆文（教授）
	都市空間論 都市空間特別研究	地理学	栗林 賢（准教授）
	国際関係と地域研究 地域史特別研究 I 地域史特別研究 II	エリアスタディー	山崎 功（教授）
	文化交流史研究 a 文化交流史研究 b	文化交流史	中尾 友香梨（教授）

V 地域マネジメントコース

出願資格・出願書類・入試方法・試験日程等

V-i 一般入試

1 教育研究分野

コース	教育研究分野
地域マネジメントコース	経営，会計，地域政策，経済理論， 国際経済，経済・経営情報，法務管理

2 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び2027年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。以下同じ。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者[次頁の(注2)を参照してください。]
- (10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[次頁の(注2)を参照してください。]

- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の（注2）を参照してください。]
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日において満22歳に達した者（学校教育法施行規則第155条第1項第8号）[下記の（注1）及び(注2)を参照してください。]

(注1) 出願資格(13)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

(注2) 出願資格(9)、(10)、(11)、(12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください（ただし、③については出願資格(10)、(11)及び(12)による出願希望者のみ）。

- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、2026年10月7日（水）までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書（様式M7－2）」に「入学試験出願資格認定審査調書（様式M8－2）」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。
なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。
- ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。
- ③ 出願資格(10)、(11)及び(12)による者で、入学試験に合格した者に対しては、2027年3月までに提出された成績証明書等により、入学資格要件（事前に本人に通知します。）を審査します。
審査の結果、入学資格要件を満たしていないと認定された者は、入学できません。

3 出願書類等（一般入試）

下記の出願書類を学務部入試課ホームページから、ダウンロードして提出してください。

https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html

出願書類等		備考
銀行窓口での納入	入 学 検 定 料 30,000円	本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 ただし、次に該当する方は納入しないでください。 ・国費外国人留学生 次の場合は、<u>検定料の返還請求ができます</u>ので、必ず手続きをしてください。 ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合 なお、返還請求の方法等については、学務部入試課までお問い合わせください。上記以外の事由による既納の検定料は、いかなる理由があっても一切返還しません。
	インターネット出願システムより登録・印刷	検定料を納入後、銀行窓口において出納印が押印された「C 票 佐賀大学検定料振込証明書」を受領してください。「C 票 佐賀大学検定料振込証明書」の写真を撮り、インターネット出願登録時にアップロードしてください。写真のサイズや縦横比は問いませんが、画質が悪く文字が判別できないものは不可とします。 インターネットによる出願登録が終わったら、「印刷画面」ボタンから全ての項目を A4 サイズの紙に印刷（両面印刷推奨）し、提出してください。
書面で準備する資料	写 真 票	※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。
	履 歴 書（様式 M2-2） （出願資格(3),(4),(5)及び(6)による出願希望者のみ）	本学所定の様式を用いてください。
	成 績 証 明 書	最終出身学校の成績証明書 佐賀大学の証明書は封緘不要です。
	卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書等 ^(注1)	出身大学等作成のもの。^(注2) 佐賀大学の証明書は封緘不要です。
	志 望 理 由 書 （ 様 式 M 3 - 2 ）	本学所定の用紙を用いてください。
	研 究 計 画 書 （ 様 式 M 4 - 2 ）	本学所定の用紙を用いてください。
	「 住 民 票 」 又 は 「 在 留 カ ー ド 」 の 写 し （日本国籍を有しない者のみ）	○現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カードの表裏両面をコピーしたものでも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。

（注1） 合格者について、2027年3月卒業見込みの者（本学出身者を除きます。）は「卒業証明書」を、出願資格(2)にかかる学位取得見込み者は、「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を卒業後速やかに学務部入試課へ提出してください。

（注2） 出願資格(2)にかかる者のうち、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科等を卒業（修了）見込みの者については、学士の学位の授与申請予定証明書を添付してください。

4 入試方法

入学者の選抜は、筆記試験（専門科目及び外国語科目）、面接（口頭試問を含む。）、成績証明書等を総合して判定します。

① 筆記試験

受験する専門科目は、出願の際にあらかじめ選択してください。選択した科目以外では受験できません。専門科目と外国語科目（英語）は同じ試験時間内に回答します。

ア 専門科目

希望する教育研究分野の出題科目のうちから1科目を選択してください。

教育研究分野	出題科目
経営	マーケティング論，経営管理
会計	財務会計論，管理会計論
地域政策	都市経済学，財政学
経済理論	ミクロ経済学，マクロ経済学，経済学史
国際経済	開発経済学，日本経済，アジア経済史，日本経済史
経済・経営情報	統計学，計量経済学，経営情報論
法務管理	民法，労働法，社会保障法

イ 外国語科目（英語）

② 面接（口頭試問を含む。）

主としてコースにかかわる分野について試問し、志願者の研究意欲、研究能力等を判定します。

5 試験日程等

(1) 集合時間・集合場所（受験票を必ず持参してください。）

2026年12月6日（日）（集合時間・集合場所は、受験票送付の際に併せて通知します。）

(2) 学力試験等日程

試験時間	内容
9：30～12：00	専門科目及び外国語科目（同じ試験時間内に回答します。）
13：00～	面接（口頭試問を含む。）

5 配点等

科目等 選抜方法	筆記試験		面接	総合判定
	専門科目	外国語科目		
一般入試	100	100	合・否	合・否

6 採点・評価基準

① 筆記試験

専門科目では、提示された資料や課題に関する的確な理解のもと、自分の意見や考えを当該分野の基礎及び応用知識に基づき適切な表現と構成を用いて論理的に書くことができるか、統計学や計量経済学など数学的能力が求められる科目においては数学および統計的な知識に基づき適切な解が導出できるか、という観点から評価を行います。

外国語科目（英語）では、提示された英文資料に関する読解力や語彙力、英文作成能力が身についているか、という観点から評価を行います。

② 面接

面接では、コースにかかわる知識を的確に理解しているか、研究に対する意欲と能力を持っているか、自分の研究内容や見解を適切に表現できるか、という観点から評価を行います。

V-ii 社会人特別入試

1 趣 旨

科学技術の進歩，社会の複雑化のなかで社会人の学修希望が高まり，再教育に対するニーズが高まっています。

本学大学院においては，大学卒業後，社会経験を経た人を受け入れて，大学学部より高度の研究活動を行い，開かれた大学院として社会に役立つ研究と技術開発の推進を図り，あわせて，生涯教育に寄与しようとするものです。

この選抜により入学した者に対しては，大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。＜41ページ参照＞

2 教育研究分野

コース	教育研究分野
地域マネジメントコース	経営，会計，地域政策，経済理論， 国際経済，経済・経営情報，法務管理

3 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者で，入学時に社会人として2年以上[入学する月（4月）の前までの間]の勤務経験を有し，かつ職業を有する者，又は，大学を卒業して5年以上[入学する月（4月）の前までの間]の者としします。ただし，勤務先から在職のまま派遣される者については，2年以上の勤務経験は問いません。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第125条の2第

1 項に規定する特定専門課程をいう。以下同じ。)における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)

(9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者[下記の(注2)を参照してください。]

(10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]

(11) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]

(12) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]

(13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日において満22歳に達した者(学校教育法施行規則第155条第1項第8号)[下記の(注1)及び(注2)を参照してください。]

(注1) 出願資格(13)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

(注2) 出願資格(9)、(10)、(11)、(12)、及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。

① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、2026年10月7日(水)までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書(様式M7-3)」に「入学試験出願資格認定審査調書(様式M8-3)」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等の提出を求めることや面接を行うことがあります。

② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。

4 出願書類等（社会人特別入試）

下記の出願書類を学務部入試課ホームページから、ダウンロードして提出してください。

https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html

出願書類等		備考
銀行窓口での納入	入 学 検 定 料 30,000円	本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 ただし、次に該当する方は納入しないでください。 ・国費外国人留学生 次の場合は、<u>検定料の返還請求ができます</u>ので、必ず手続きをしてください。 ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合 なお、返還請求の方法等については、学務部入試課までお問い合わせください。 上記以外の事由による既納の検定料は、いかなる理由があっても一切返還しません。
	C 票 佐 賀 大 学 検 定 料 振 込 証 明 台 紙	検定料を納入後、銀行窓口において出納印が押印された「C 票 佐賀大学検定料振込証明書」を受領してください。「C 票 佐賀大学検定料振込証明書」の写真を撮り、インターネット出願登録時にアップロードしてください。写真のサイズや縦横比は問いませんが、画質が悪く文字が判別できないものは不可とします。
インターネット出願システムより登録・印刷	登 録 情 報 を 印 刷 し た 紙	インターネットによる出願登録が終わったら、「印刷画面」ボタンから全ての項目を A4 サイズの紙に印刷（両面印刷推奨）し、提出してください。
	写 真 票	※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前 3 か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。
	履 歴 書 （ 様 式 M 2 - 3 ） （出願資格(3), (4), (5) 及び(6)による出願希望者のみ）	本学所定の様式を用いてください。
	成 績 証 明 書	最終出身学校の成績証明書 佐賀大学の証明書は封緘不要です。
	卒 業 （ 修 了 ） 証 明 書 等	出身大学等作成のもの。 佐賀大学の証明書は封緘不要です。
	論 文	実務経験に基づいて作成した論文。ただし、大学院で研究しようとする分野に関わらせて論説しなければなりません。（400 字詰め原稿用紙 20 枚以上、日本語で作成してください。）
	志 望 理 由 書 （ 様 式 M 3 - 3 ）	本学所定の用紙を用いてください。
	研 究 計 画 書 （ 様 式 M 4 - 3 ）	本学所定の用紙を用いてください。
	研 究 業 績 書 （ 様 式 M 5 - 3 ）	研究論文、技術報告書、特許、実用新案、卒業研究報告書等本人の業績又は業績内容を示すもの。本学所定の用紙を用いてください。
	出 願 承 認 書 （ 様 式 M 6 - 3 ） （ 在 職 中 の 者 の み ）	本学所定の用紙を用いてください。
書面で準備する資料	推 薦 書 （ 様 式 は 任 意 ）	勤務先所属長又は従事した勤務先所属長が推薦し、厳封したもの。ただし、任意提出とします。

出願書類等		備考
書面で準備する資料	「住民票」又は「在留カード」の写し（日本国籍を有しない者のみ）	○現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カードの表裏両面をコピーしたものでも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。

5 入試方法

入学者の選抜は、実務経験に基づいて作成した論文、口頭試問、成績証明書及び提出された研究業績書等を総合して判定します。

論文審査	口頭試問
実務経験に基づいて作成した論文によって選抜します。	提出論文・研究分野に関する口述試験及び志願者の研究意欲、研究能力等を判定します。

6 試験日程等

- (1) 集合時間・集合場所（受験票を必ず持参してください。）

2026年12月6日（日）（集合時間・集合場所は、受験票送付の際に併せて通知します。）

- (2) 学力試験等日程

試験時間	内容
9：30～	口頭試問

7 配点等

科目等 選抜方法	論文審査	口頭試問	総合判定
社会人特別入試	秀・優・良・可・不可	合・否	合・否

8 採点・評価基準

- ① 論文審査

論文審査では、問題意識が明確で学術的に適切か、主張や見解が学術的に適切な表現、方法論、構成を用いて論理的に展開されているか、研究の独自性が認められるか、という観点から評価を行います。

- ② 口頭試問

口頭試問では、コースにかかわる知識を的確に理解しているか、研究に対する意欲と能力を持っているか、自分の研究内容や見解を適切に表現できるか、という観点から評価を行います。

7 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例による教育の実施について

本学大学院地域デザイン研究科では、大学院での履修を希望する社会人に対し、同条に定める教育方法の特例による教育を実施します。この概要は、次のとおりです。

(1) 修業年限

修業年限は 2 年とする。長期履修に関しては、佐賀大学大学院学則第 16 条に従い、原則として入学時に学生からの申し出があった場合、研究科委員会の審議によってこれを認める。

(2) 履修指導及び研究指導の方法

指導教員は、社会人であることを考慮して、個々人の勤務状況に応じた適切な履修計画を指導する。

(3) 授業実施方法

社会人学生は、指導教員及び担当教員と相談のうえ、夜間の時間（18:00～19:30）又は集中講義として休業期間中に授業を受けることができる。

V-iii 外国人留学生入試

1 教育研究分野

コース	教育研究分野
地域マネジメントコース	経営、会計、地域政策、経済理論、 国際経済、経済・経営情報、法務管理

2 出願資格

日本の国籍を有しない（日本国の永住許可を得ていない）者で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した後、日本の大学に入学し、卒業した者及び2027年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。以下同じ。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者[次頁の(注2)を参照してください。]
- (10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得した

ものと認めた者[次頁の(注2)を参照してください。]

- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日において満22歳に達した者（学校教育法施行規則第155条第1項第8号）[下記の(注1)及び(注2)を参照してください。]

(注1) 出願資格(13)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

(注2) 出願資格(9)、(10)、(11)、(12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。（ただし、③については出願資格(10)、(11)及び(12)による出願希望者のみ）

- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、2026年10月7日（水）までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書（様式M7－4）」に「入学試験出願資格認定審査調書（様式M8－4）」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。
なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。
- ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。
- ③ 出願資格(10)、(11)及び(12)による者で、入学試験に合格した者に対しては、2027年3月までに提出された成績証明書等により、入学資格要件（事前に本人に通知します。）を審査します。
審査の結果、入学資格要件を満たしていないと認定された者は、入学できません。

3 出願書類等（外国人留学生入試）

下記の出願書類を学務部入試課ホームページから、ダウンロードして提出してください。

https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html

出願書類等		備考
銀行窓口での納入	入 学 検 定 料 30,000円	本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 ただし、次に該当する方は納入しないでください。 ・国費外国人留学生 次の場合は、<u>検定料の返還請求ができます</u>ので、必ず手続きをしてください。 ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合 なお、返還請求の方法等については、学務部入試課までお問い合わせください。上記以外の事由による既納の検定料は、いかなる理由があっても一切返還しません。
	C 票 佐賀大学検定料 振込証明書台紙	検定料を納入後、銀行窓口において出納印が押印された「C 票 佐賀大学検定料振込証明書」を受領してください。「C 票 佐賀大学検定料振込証明書」の写真を撮り、インターネット出願登録時にアップロードしてください。写真のサイズや縦横比は問いませんが、画質が悪く文字が判別できないものは不可とします。
システムより登録・印刷 インターネット出願シ 登録情報を印刷した紙	登 録 情 報 を 印 刷 し た 紙	インターネットによる出願登録が終わったら、「印刷画面」ボタンから全ての項目を A4 サイズの紙に印刷（両面印刷推奨）し、提出してください。
	写 真 票	※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。
	成 績 証 明 書	最終出身学校の成績証明書 佐賀大学の証明書は封滅不要です。
	卒 業（修了）証明書又は 卒業（修了）見込証明書等 ^{（注1）}	出身大学等作成のもの。^{（注2）} 佐賀大学の証明書は封滅不要です。
	志 望 理 由 書 （様式 M 3 - 4）	本学所定の用紙を用いてください。
	研 究 計 画 書 （様式 M 4 - 4）	本学所定の用紙を用いてください。
	履 歴 書 （様式 M 2 - 4）	本学所定の用紙を用いてください。
「住民票」又は 「在留カード」の写し （日本国籍を有しない者のみ）		○現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カードの表裏両面をコピーしたものでも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。

（注1）合格者について、2027年3月卒業見込みの者（本学出身者を除きます。）は「卒業証明書」を、出願資格(2)にかかる学位取得見込み者は、「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を卒業後速やかに学務部入試課へ提出してください。

（注2）出願資格(2)にかかる者のうち、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科等を卒業（修了）見込みの者については、学士の学位の授与申請予定証明書を添付してください。

4 入試方法

- (1) 入学者の選抜は、修学に必要な学力、能力及び専攻する専門分野の内容等について、筆記試験、面接（口頭試問を含む。）及びその他の書類を総合して判定します。

① 筆記試験

受験する専門科目は、出願の際にあらかじめ選択してください。選択した科目以外では受験できません。

専門科目と小論文は同じ試験時間内に回答します。

ア 専門科目

希望する教育研究分野の出題科目のうちから1科目を選択してください。

教育研究分野	出題科目
経営	マーケティング論，経営管理
会計	財務会計論，管理会計論
地域政策	都市経済学，財政学
経済理論	ミクロ経済学，マクロ経済学，経済学史
国際経済	開発経済学，日本経済，アジア経済史，日本経済史
経済・経営情報	統計学，計量経済学，経営情報論
法務管理	民法，労働法，社会保障法

イ 小論文

日本語で課します。

② 面接（口頭試問を含む。）

主としてコースにかかわる分野について試問し、志願者の研究意欲、研究能力等を判定します。

(2) 英語による入試

入学者の選抜は、修学に必要な学力、能力及び専攻する専門分野の内容等について、筆記試験、口頭試問及びその他の書類を総合して判定します。

① 筆記試験（出題・解答について英語で行います。）

受験する専門科目は、あらかじめ選択し、出願の際、入学志願票、写真票及び受験票の該当欄にその科目を記入してください。選択した科目以外では受験できません。

ア 専門科目

下記の出題科目のうちから1科目を選択してください。

教育研究分野	出題科目
国際経済	開発経済学，日本経済，アジア経済史，日本経済史

イ 小論文

英語で課します。

② 口頭試問（英語で行います。）

主としてコースにかかわる分野について試問し、志願者の研究意欲、研究能力等を判定します。

5 試験日程等

- (1) 集合時間・集合場所（受験票を必ず持参してください。）

2026年12月6日（日）（集合時間・集合場所は、受験票送付の際に併せて通知します。）

- (2) 学力試験等日程

試験時間	内容
9：30～12：00	専門科目及び小論文（同じ試験時間内に回答します。）
13：00～	面接（口頭試問を含む。）

6 配点等

科目等 選抜方法	筆記試験		面接	総合判定
	専門科目	小論文		
外国人留学生入試	100	100	合・否	合・否

7 採点・評価基準

① 筆記試験

専門科目では、提示された資料や課題に関する的確な理解のもと、自分の意見や考えを当該分野の基礎及び応用知識に基づき適切な表現と構成を用いて論理的に書くことができるか、統計学や計量経済学など数学的能力が求められる科目においては数学および統計的な知識に基づき適切な解が導出できるか、という観点から評価を行います。

小論文では、提示された資料と課題に関する的確な理解のもと、自分の意見や考えを適切な表現及び構成を用いて論理的に書くことができるか、という観点から評価を行います。

② 面接

面接では、コースにかかわる知識を的確に理解しているか、研究に対する意欲と能力を持っているか、自分の研究内容や見解を適切に表現できるか、という観点から評価を行います。

V-iv 教育研究分野等

■ 地域マネジメントコース

教育研究分野	内 容	授 業 科 目	担 当 教 員 名
経営	経営の高度な専門的知識の獲得によるマネジメントの思考及び市場の展開を理解し分析できる能力を修得し、地域再生・地域産業の発展とそれを支える経営理論の展開を図るための科目群	マーケティング研究	洪 廷和（准教授）
		地域マーケティング研究	山口 夕妃子（教授）
		マーケティングサイエンス研究	関 庚炫（教授）
		経営財務研究	野方 大輔（教授）
		地域マネジメント史研究	山本 長次（教授）
		証券分析研究	篠崎 伸也（准教授）
会計	会計の高度な専門的知識の獲得によって地域再生や地域産業発展に重要な役割を果たす企業における財務・会計分析能力を修得し、地域企業の振興と地域の再生を支えるための科目群	財務会計研究	山形 武裕（准教授）
		管理会計研究	角田 幸太郎（教授）
地域政策	経済学の専門的知識の上に地域経済の現実と論理を理解し分析できる能力および政策の分析と評価をおこなえる能力を修得し、地域再生・経済政策とそれを支える経済理論の展開を図るための科目群	都市・交通経済分析研究	亀山 嘉大（教授）
		現代政治経済学研究	中西 一（教授）
		農業経済研究	品川 優（教授）
経済理論	経済学の高度な理論分析の方法にもとづき、地域経済とグローバル経済における市場の展開を理解し分析できる能力を修得し、地域経済の再生と経済政策を支える経済理論の展開を図るための科目群	経済学史研究	伊藤 正哉（准教授）
		マクロ経済学研究	谷 晶紅（准教授）
		応用ミクロ経済分析	吉田 友紀（教授）

国際経済	経済学の専門的知識の上にグローバル経済の論理と歴史および経済開発の理論と現実を理解し分析できる能力を修得し、グローバル経済における経済政策と地域再生の展開を図るための科目群	開発経済論研究	サーリヤ ディ シルバ（教授）
		国際経済史研究	金子 晋右（教授）
		日本経済研究	藺田 竜之介（教授）
経済・経営情報	経済・経営情報に関する高度な情報処理と統計分析の専門的知識の獲得によって、地域の課題の解決と国際的展開において情報を収集、蓄積、分析、発信する能力を修得し、地域の再生と振興を支える情報分析の展開を図るための科目群	経営情報処理研究	安田 伸一（准教授）
		経営情報研究	羽石 寛志（教授）
法務管理	企業活動に関連する法律の高度な専門的知識の獲得によって、地域企業の法的課題の理解と解決ができる能力を修得し、地域経済の再生と振興を支える法務の展開を図るための科目群	労働関係法研究	早川 智津子（教授）
		社会保障法研究	平部 康子（教授）
		刑法研究	内山 真由美（教授）
		知的財産法研究	孫 友容（准教授）

V-v Screening in English

If you are not enrolled at Saga University at the time of application, before proceeding with the application process, please be sure to contact the faculty member you wish to get your research supervised and discuss the research you wish pursue after enrollment. If you do not know the contact information, please contact the entrance examination division through e-mail address (contact@mail.admin.saga-u.ac.jp).

Regional Management Course offers “Screening in English.”

1. Education/Research Fields

Course	Education/Research Fields
Regional Management	International Economics / Asian Economics

2. Application Qualifications

You must be non-Japanese / not a permanent resident in Japan and fulfill one of the qualifications below.

- (1) A person who graduated, or is expected to graduate on or before March 31, 2027 from a Japanese university or college after completing a 12-year curriculum of school education in a foreign country.
- (2) A person who was awarded, or is expected to be awarded on or before March 31, 2027, a bachelor's degree according to Article 104, Clause 7 of the School Education Law (A law of the Japan government).
- (3) A person who has completed, or is expected to complete on or before March 31, 2027, a 16-year curriculum of school education in a foreign country.
- (4) A person who has completed, or is expected to complete on or before March 31, 2027, a 16-year curriculum of school education in a foreign country, by taking a correspondence course of an overseas educational institution in Japan.
- (5) A person who has completed, or is expected to complete on or before March 31, 2027, a course at an educational institution abroad (a graduate of which must have completed a 16-year course in the school education system), which is assessed in Japan to have university courses in that education system, and specifically designated by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT).
- (6) A person who was awarded, or is expected to be awarded on or before March 31, 2027, a bachelor's degree, by completing a course whose minimum period required for graduation is three years (including completion of a course by taking a correspondence course of an overseas educational institution in Japan, and completion of a course at an overseas educational institution which is assessed in Japan to have university courses in that educational system, and specifically designated in (5)) in an overseas university or an overseas educational

institution (only institutions assessed by foreign government or a person certified by related organs, regarding its educational and research activities, or institutions specifically designated by MEXT as equivalent).

(7)

A person who has completed on or after the date set by the MEXT, or a person who is expected to complete such a course by March 2027,

(1) A specialized course at a specialized training college (limited to those with a minimum duration of four years and meeting other criteria set by the MEXT)

or (2) an advanced course at a specialized training college (limited to those that have a curriculum designed to ensure continuity with the education in the specific specialized courses

(referring to the specified specialized course stipulated in Article 125-2, Paragraph 1 of the School Education Act; the same applies hereinafter) of the specialized training colleges

that offer the relevant advanced course, and that meet other standards set by the MEXT) designated by the MEXT.

(8) A person deemed eligible by MEXT as per Notification Number 5 (1953) of the Ministry of Education.

(9) A person who enters the other graduate school according to Article 102, Clause 2, and appropriates to continue his/her education in the university. (See Notes 2 below)

(10) A person who has spent three years or more at a university which is regarded by Article 83 of the School Education Law, as having obtained the designated credits with excellent results. (See Notes 2 below)

(11) A person who has completed a 15-year curriculum of school education in a foreign country, or who completed a 15-year curriculum by taking correspondence course provided non-Japanese universities in Japan, as having obtained the designated credits with excellent results. (See Notes 2 below)

(12) A person who has completed a course at an educational institution abroad (a graduate of which must have completed a 15-year course in the school education system), which is assessed in Japan to have university course in that education system, and specifically designated by the MEXT, as having obtained the designated credits with excellent results. (See Notes 2 below)

(13) A person recognized by the Graduate School of Economics, Saga University, as a result of its individual eligibility judgment, as having equivalent to or higher academic abilities compared with university/college graduates, and who will be 22 years of age on or before March 31, 2027 (pursuant to Article 155, Clause 1, Paragraph 8 of the Regulation of School Education Law).

(See Notes 1 and 2 below)

(Note 1) The individual eligibility judgment for qualification (13) is to see if those without university/college graduation eligibility, including graduates from junior colleges, technical colleges, special training schools and various other schools/educational institutions, have equivalent to or higher academic abilities compared with university/college graduates.

(Note 2) For applicants satisfying qualification (9), (10), (11), (12) or (13): You should note the following points in your application process (provided, however, that ③ applies only to those who fulfill qualification (10), (11) or (12):

- ① For preliminary eligibility judgment, you should submit to the Entrance Examination Section, followed by advance consultation by Wednesday, October 7, 2026 the Application Form for Eligibility Judgment (Form 7-4), together with the Record of Eligibility Judgment for Examination Application (Form 8-4), and other necessary documents listed in the Application Form for Eligibility Judgment. Depending on your background, you may be asked to submit various other documents/materials or to undergo an interview.
- ② Applications will be accepted only from those recognized as eligible.
- ③ For applicants who fulfill qualification (10), (11) or (12) above and have passed the examination, their eligibility for entrance (details to be personally notified in advance) will be judged according to their academic transcript and other documents submitted by March 31, 2027. Anyone judged to be ineligible as a result will not be admitted.

3. Application Period

(1) Application period

Thursday, October 22, 2026 to Thursday, October 29, 2026

Your application should reach the University by simple registered mail or by bringing not later than 17:00 on **Thursday, October 29, 2026**

In the case of bringing, submission time is from 9:00 a.m. and 5:00 p.m. on weekdays.

The Application Envelope designated by the University should be used.

https://www.sao.saga-u.ac.jp/admission_center/english/admissions.html

(2) Applications should be submitted to:

Entrance Examination Section

Saga University

1 Honjo-machi, Saga City 840-8502, Japan

(3) Examination Voucher and Examination Guide

Applicants themselves download the examination voucher and guide from the J-Bridge System. An e-mail with the subject “[J-Bridge System] Notice of additional application for the Graduate School of Regional Design, Saga University, April Admission (2nd intake)” will be sent to the e-mail address registered at the time of application at least one week prior to the examination date. In the same e-mail, you will find instructions on how to download the examination voucher and the examination guide. Please print out the examination voucher on A4 size paper and bring it with you when you take the examination. The university will not send the examination voucher by mail. The examination guide includes information on where to meet on the day of the examination, so please be sure to check the contents beforehand.

4. Application Documents (Admission for Foreign Students)

Application Forms are available online.

https://www.sao.saga-u.ac.jp/admission_center/english/admissions.html

Application Documents, etc.		Remarks
Payment over the counter at a bank	Examination fee (¥30,000)	Please use the designated examination fee payment request form provided by the university and pay the fee at a bank counter. However, those who fall under any of the following categories are not required to pay. • Government-sponsored international students. You may request a refund of the examination fee in the following cases. Please make sure to complete the necessary procedures: • You transferred the examination fee but did not submit your application documents to the university. • You transferred the examination fee and submitted your application documents to the university, but they were not accepted. • You mistakenly paid the examination fee twice. For details on how to request a refund, please contact the Admissions Section of the Academic Affairs Division. Please note that examination fees already paid will not be refunded under any circumstances other than those listed above.
	Examination Fee Receipt Pasting Sheet (FormA_B_C)	After paying the application fee, please receive a “Certificate of Transfer of Application Fee for Saga University” with a cashier's seal stamped on it at the bank counter. Please take a photograph of the “Certificate of Payment of Application Fee for Saga University” and upload it when you register for the online application. The size and aspect ratio of the photo can be any size, but a photo of poor quality and one in which the text cannot be distinguished is not acceptable.
Register and print from the Internet application system	Paper with printed registration information	After completing the online application registration, please print all items on A4 size paper (double-sided printing is recommended) from the “印刷画面” button and submit it.
	Photo ID Sheet	Fill out the Forms except for columns marked with an asterisk. Your photograph (passport photo size), taken within three months prior to the application, should be pasted in the space provided.
Materials to be prepared in writing	Academic Transcript	This document should be prepared by the president or the dean of your graduating school. It should be officially sealed.
	Certificate of (Expected) Graduation / Completion (See Note 1)	This document should be prepared by your graduating school/institution. (See Note 2)
	Statement-of-Purpose Sheet (Form 3-4)	The Form designated by the University must be used. (See Note 3)
	Study Plan (Form 4-4)	The Form designated by the University must be used. (See Note 3)
	Curriculum Vitae (Form 2-4)	The Form designated by the University must be used.
	Visa Status Certification	Certificate of Foreign Resident Registration or a photocopy of your passport or resident card must be submitted.

(Note 1) Successful applicant expected to graduate in March 2026 (except for students of Saga University) should submit a Graduation Certificate as soon as possible after graduation. A successful applicant satisfying qualification (2)

above, who is expected to acquire a bachelor's degree, should submit either a copy of their Diploma or Degree Certificate. Submissions should be made to Entrance Examination Section.

(Note 2) Applicants who fulfill qualification (2) above and are expected to graduate (or complete) a specialized course of junior college, technical college, etc. are required to attach a Certificate of Expected Application for Bachelor's Degree.

(Note 3) Applicants for the Screening in English may fill out the Form in English.

5. Screening Procedure

For screening, applicants' academic performance, competence, and their respective fields of specialized study will be comprehensively considered on the basis of their written/oral examination results and relevant documents.

① Written Examination (Questions and answers to be given in English)

Please select the specialized subject you will take in advance at the time of application, Photo ID Sheet and Examination ID Sheet when submitting your application. Testing in any other subject is unacceptable.

a) Specialized Subjects

You must choose any one of the subjects listed below.

Education/Research Fields	Examination Subjects
International Economics / Asian Economics	Development Economics, Japanese Economy, Asian Economic History, Japanese Economic History

b) Essay Examination

The examination will be given in English.

② Oral Examination

Applicants' research incentives and capabilities will be assessed.

* The interview will be conducted in English.

6. Examination Schedule

(1) Time and Place for Assembling (Note: Be sure to bring your Examination ID Sheet.)

Sunday, December 6, 2026

(Note: The exact time and place for assembling will be notified upon delivery of your Examination ID Sheet)

(2) Examination Schedule

Test time	Subjects
9 : 30~12 : 00	Specialized Subject and Essay (Please answer in the same test time.)
13 : 00~	Oral Examination

7. Allocation points

Subjects Screening Procedure	Written Examination		Oral Examination	Overall Judgment
	Specialized Subjects	Essay Examination		
Screening in English	100	100	Pass • Fail	Pass • Fail

8. Grading and Evaluation Criteria

① Written Examinations

In Specialized Subjects, evaluation is based on the ability to logically write applicant's own opinions and ideas using appropriate structure and expressions, grounded in a correct understanding of the provided materials and questions, and based on both fundamental and applied knowledge in the relevant field. For subjects requiring mathematical skills, such as statistics or econometrics, evaluation is based on whether they can derive appropriate solutions using mathematical and statistical knowledge.

For Essay Examination, evaluation is based on whether applicant's can logically write their own opinions and ideas using appropriate structure and expressions, grounded in a correct understanding of the materials and questions presented.

② Oral Examination

In the interview, evaluation is based on whether the candidate has a sound understanding of the knowledge relevant to the course, possesses motivation and ability to conduct research, and can appropriately express their research content and perspectives.

9. Announcement of Successful Applicants

10:00 on Tuesday, December 22, 2026

The examination ID numbers of successful applicants will be posted on the website below.

<https://www.sao.saga-u.ac.jp>

Successful applicants will also be personally notified by a Letter of Acceptance from the University.

No telephone inquiries about examination results will be answered.

VI その他

本学への来場方法及びキャンパス内の配置については、本学ホームページの交通アクセス及びキャンパスマップをご確認ください。

交通アクセス

<https://www.saga-u.ac.jp/access>



本庄キャンパス キャンパスマップ

<https://www.saga-u.ac.jp/gaiyol/campusmap>



鍋島キャンパス キャンパスマップ

<https://www.saga-u.ac.jp/gaiyol/campusmap/nabeshima.html>



佐賀大学 学務部 入試課

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL 0952-28-8178

ホームページ <https://www.saga-u.ac.jp>

e-mail contact@mail.admin.saga-u.ac.jp

